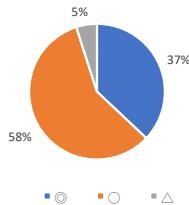


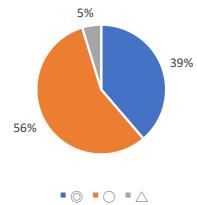
保育所自己評価・5月集計表（さつき認定こども園）

◎：とても良い ○：良い △：配慮しましょう	◎	○	△
1. 保育指針の理解	60	94	8
2. 発達援助の基本	115	168	14
3. 健康・保健・食事	25	80	2
4. 保護者との連携	61	54	36
5. 地域との関わり	4	42	35

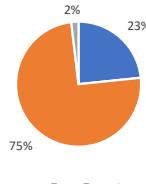
1. 保育指針の理解



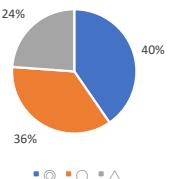
2. 発達援助の基本



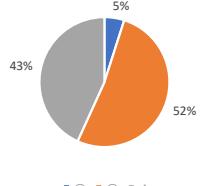
3. 健康・保健・食事



4. 保護者との連携



5. 地域との関わり



総評

1. 保育指針の理解	今年度は、保育指針を基本として保育が行われていくよう宜野湾市で年間を立て研修が行われることになったので、毎回職員を交代で参加させ、保育指針を理解しながら保育を行っていくよう皆で研鑽していきたい。
2. 発達援助の基本	園児一人ひとりの発達に配慮しながら、個々が自信を持ってステップアップできるような関りをこころがけていきたい。援助の仕方は、クラス職員間で共有し、子どもの最大の利益を念頭におき、より良い保育、援助ができるようにしていきたい。
3. 健康・保健・食事	健康面は、個々の様子をしっかりと把握し保護者と共有しながら適切に対応していく。食事は一人ひとりの量や体調面もしっかりと把握しながら無理強いして食べさせることがないようにし、家庭、職員間でしっかりと共有し、食への興味が持てるようにするにはどのような関りが必要なのかを考えていく。
4. 保護者との連携	子どもの様子を日々伝え合い、共有していく。保護者が何でも話せるような雰囲気作りを大切にし、保護者の悩みを解決することを第一の目的にするのではなく「話せて良かった」と思える環境にしていく。その中で解決に必要な手段を見つけられるようにしていく。
5. 地域との関わり	5歳児が地域の幼稚園や保育園のこども達と関わったり、小学校見学も予定している。期待を持って就学に向かえるよう連携を取っている。7月には、宜野湾市健康増進課から「がんじゅう体操」を園児に教えて頂くことになっている。秋頃に高齢者との関りを予定しており、その時に披露予定。又、我如古公民館での野菜収穫体験に参加させてもらうことになっている。地域との関りがもっと増えるようにしていきたい。

保育士の目標・自己評価（5月）

目標	職員間で情報共有を行いながら子ども達の気持ちに寄り添い、一人ひとりの発達に合った関わり方をしていく。安心、安全で子ども達が伸び伸びと過ごせる環境を整えていく。
	複数担任の良いところを活かし連携を図り共通理解をしたなかで子ども達の良いところや出来る事を増やしていくように丁寧な援助を行う。保護者の方や子ども達の日々の様子や家庭ではみられない姿を伝え、信頼関係を築きながら成長と共に喜び合う。
	子ども達の立場になり何を望んでいるのか何に困っているのかを想像しながら子ども達と関りこどもが安心できる環境が作れるような保育をする。
	子どもの気持ちに寄り添い一人ひとりの成長に合わせた保育をしていきたい。いろんな玩具に興味が持てるように様々な遊びを通して好奇心や探求心を育てていきたい。
	子どもの気持ちに寄り添い「なぜ泣いているのか」「なぜその行動をするのか」等一つひとつの何故?に丁寧に目を向けながら保育をする。
	食事を皆で食べることによっての楽しさの雰囲気づくりを自然にできるようにする。子どもが毎日楽しい園生活が遅れるよう毎日一緒に楽しむ。
	子ども一人ひとりが楽しく過ごせる様子どもの側に付き発見や気づきに共感していく。子ども達の活動が上手くいくように保育者の流れを考えていけるようにする。
	新入園児の子ども達、保護者との信頼関係を早めに築けるようにしたい。在園児の人見知り、後追いしてくる子の情緒の安定、安心して園生活を送れるよう配慮していきたい。子ども達への声掛けでは制止言葉に注意していく。
	子ども達一人ひとりの甘えたい気持ちを受け止め伸び伸びと安心して成長できる環境を作る。
	クラスの子ども達一人ひとりが安心して園生活を過ごす事ができるような雰囲気づくりや言葉かけを意識していきたい。また、前年度課題としてあげていた動線を意識した環境作りや活動の設定を考えていけるようにしたい。
	持ち上がりの子ども達をみているからか最近は「いけません」等の禁止言葉を使ってしまいます。他の保育士のたしなめ方等をしっかり見聞きして子ども達にとってより良い保育をしていきたいです。自分のやりかただけでなく、他の職員のやり方も参考にしながら保育環境をより良くしたいです。
	どの子も同じように対応し、また保護者にも安心できるような環境を作っていく。現クラス2ヶ月経つが、保育者同士も楽しい雰囲気を作り色々な行事等意見を言い合ったり聞いてあげたりしながら皆で行事に参加できるように持っていく。
	自分の心にゆとりをもった保育をしていく。子どもひとりひとりの個性発達を認め、尊重し自己肯定感を高められる保育をする。子どもの主体性を大切にした保育。
	発達が気になる子とそうでない子との関わり方や深め方を自分一人の考えではなく、周りと強調しあってより良い保育を目指せるように一人でも多く「いいところ」を見つけられるようにしていく。
	以上児の生活の流れを把握し、見通しを持って動く。個々の成長に応じて声掛けや援助の仕方を変える。職員同士で連絡事項や保護者対応等共有・相談する。
	子どもの様子を丁寧に見守り、子どもや保護者が安心して園生活を過ごせるような環境作りや職員同士が互いに意見を出し合い良い関係を築けるように、雰囲気づくりを大切にする。
	まだ受けていないキャリアアップの研修を受け、自分のスキルアップに繋げていきたい。毎日笑顔、行動など気を付け子ども達と共に楽しんで行ける様な環境作り、又子ども達が主体的に活動できる環境にしていきたい。職員間の連携を図り、何でも言い合える雰囲気づくり、を大切にしていく。
	一人ひとりの良いところをみつけ、褒めて意欲を養ったり何でも話したくなるような雰囲気作りを心掛ける。
	子ども一人ひとりに添った保育をしていく。保護者支援に力を入れていきたい。
	子ども一人ひとりに対して、平等な愛情を注ぎ、より良い信頼関係を築き子どもの心と身体の育ちの支援がしたい。
	子どもの思いを受け止め安心して過ごせるよう配慮し、困っている時は何に困っているのかを確認し分かりやすく丁寧な言葉で伝え一緒に考え成長していく。